

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 6. 行政経営

(基本施策) (3)持続性を保つ健全な財政運営

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

基本施策が目指す姿

市の財政状況が、健全な運営により持続性を保ち続けています。

関連する分野別計画

第2次亀山市行財政改革大綱

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	市税収納率(現年度)	%	98.91	H28	99.07	99.14				99以上
2	経常収支比率	%	86.9	H28	86.7	86.5				85以下
3	将来負担比率	%	-	H27	-	-				指標無しを維持
4	資金不足比率が発生した会計数	会計	0	H27	0	0				0
5										

市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 健全な財政運営が行われている	重要度	1.50	1.45	健全な財政運営に対する市民の重要度はやや低下しているが、平均値を上回っていることから重要との認識をもっていると考えられる。また、満足度については前回と同得点であるがマイナス評価であり、「わからない」との回答が4割弱となっていることから、財政状況について市民へのPRが不足していることがわかる。
	満足度	0.08	0.08	
2	重要度			
	満足度			
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	多様な手法による安定した財源の確保では、税においては適正な賦課徴収に努め、現年度収納率の向上を図ることができた。また、ふるさと納税の総合サイトの開設、水道料金のクレジット収納の運用開始などから、個別判定をAとしている。財源の有効活用では、総合計画第2次実施計画に合わせ「長期財政見直し」の見直しを行うほか、大規模事業の採択に当たり事前評価制度を導入したことから、個別判定はAとしている。企業会計・外郭団体については、健全経営に向けた取り組みを実施しているものの、病院事業会計においては、依然として厳しい財政状況となっていることから、個別判定をBとした。以上の判定から総合判定をAとした。
反省点・課題	
財源の確保については、引き続き債権管理の適正化及び収納率の向上に取り組み、押し上げてきた現年度の市税収納率を維持するとともに、新たに運用開始したふるさと納税サイトの開設PRにより財源確保に努める必要がある。また、企業会計・外郭団体においては、独立採算制の下で自立した経営を行うための取り組みが必要である。	

今後の展開方針

財源の確保として、引き続き市税などの収納率の向上に向けた取り組みを進めるとともに、工業団地への企業誘致やふるさと納税のPRに努める他、基金の有効活用を図っていく。また、「長期財政見直し」の見直しを随時行うことで、今後の財政状況を勘案した予算編成を行うとともに、限られた財源の有効活用を図っていく。さらに、市の財政状況について市民の認識・理解を得られるよう、市民にわかりやすく、市の財政状況を説明していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 多様な手法による安定した財源の確保							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	固定資産税について、令和3年度の評価替えに向け、順調な作業進捗が図られている。また、市税に加え、水道料金においてクレジット収納を開始したほか、ふるさと納税については、代理寄附金の受付及び納入を行うとともに、ふるさと納税総合サイトにおける寄付受付を開始し、利便性の向上を図った。一方で、普通財産の未利用地について不要な土地の売却を行った。	評価	市税については、適正な評価を行うとともに、現年度収納においても前年度を上回る収納率となった。また、税外未収債権については、未収債権の回収に向けた取り組みが推進されており、水道料金のクレジット収納の運用開始により収納率の向上に繋がった。また、ふるさと納税における、サイトの開設による寄付額の増額や普通財産の売却など財源確保が図られている。			
							順調に進んでいる
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17105	地価調査・地番図整備事業	主	15,312 / 15,181		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	水道料金クレジット収納の運用開始					A	A
	ふるさと納税総合サイトでの寄付受付の開始					A	A

施策の方向 財源の有効活用							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	持続可能な行財政運営の基本資料として、平成30年2月に策定した「長期財政見直し」について、第2次総合計画前期基本計画第2次実施計画の策定に併せ、平成31年2月に改訂を行い、第2次実施計画に掲げる新規事業等を含め試算した。また、市の政策や財政に多大な影響を及ぼす大規模事業の採択にあたり、事前評価制度を導入することとした。	評価	市の計画変更に合わせて「長期財政見直し」を策定することで、今後見込める財源を試算し持続可能な財政運営に資することができた。また、大規模事業における事前評価制度を導入することで、事業の採択の手順を明確化した。			
							順調に進んでいる
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	2225	行政改革推進費	標	54 / 1		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	長期財政見直しの見直し					A	A
	大規模事業検討手法の構築					A	A

施策の方向 企業会計・外郭団体の自立した経営の推進							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	企業会計については、独立採算制の原則のもと、収納率の向上や経営の効率性を高めるなど、持続性のある経営管理に取り組んだ。 外郭団体については、地域社会振興会の施設・設備更新計画の実施支援、社会福祉協議会補助金の見直し、シルバー人材センターのQOL支援事業の展開支援を行った。	評価	企業会計については、経営状況を把握し、収納率の向上や自主財源の確保を行うとともに経費削減に努め、経営の健全化に向けた取組ができたが、病院事業会計においては、依然として厳しい財政状況となっている。外郭団体については、団体と担当課の連携を図るとともに、事業に関する支援を行うことで健全経営を促進できた。			
							まずまず進んでいる
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	2010	地域社会振興会運営事業	標	29,788 / 28,885		A	A
	3009-1	地域団体支援事業(社会福祉協議会)	標	67,909 / 62,773		A	A
	3009-2	地域団体支援事業(シルバー人材センター)	標	11,400 / 11,400		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果